

## P-37

田七人參のCCl<sub>4</sub>実験的肝障害モデル及び肝再生モデルに及ぼす作用

○前田佳奈，織田真智子，東野英明  
近畿大学医学部薬理学教室

【緒言】田七人參は「理血薬」の中に分類される漢薬であるが，日本では食品として位置づけられている。実験的には，ラットの関節炎の抑制，冠血流量の増加，抗ウイルス，抗真菌作用等の報告はあるが，作用メカニズム等に関する詳細な報告は少ない。臨床的には，急性肝炎，慢性肝炎など肝臓病に対して著効を示すことが知られている。今回，田七人參の肝臓に対する作用をみる目的で，CCl<sub>4</sub>実験的肝障害モデル及び肝再生モデルに対する作用について検討した。

【実験方法】1) CCl<sub>4</sub>肝障害モデルに対する作用：Wistar系雄性ラット8週齢を5群に分け，1群は正常対照群，2群はCCl<sub>4</sub>投与対照群，3群は田七人參粉末（太陽食品製）0.25%含有粉末飼料投与群，4群は田七人參粉末0.50%含有粉末飼料投与群，5群は田七人參粉末1.00%含有粉末飼料投与群とし，各々の飼料を自由摂取させた。7日目に，2～5群のラットにCCl<sub>4</sub>ガスを吸入させ，その24時間後に採血，屠殺し，血中GOT，GPT値を測定した。

2) 肝再生モデルに対する作用：Wistar系雄性ラット8週齢を3群に分け，1群は擬手術対照群，2群は肝切除対照群，3群は田七人參粉末0.50%含有粉末飼料投与群とした。2，3群のラットの肝臓の2/3を切除したのち，各々の飼料を自由摂取させた。毎日，体重測定，状態観察を行い，手術後7日目に脱血屠殺し，肝臓の重量を測定した。

【結果】1) CCl<sub>4</sub>投与対照群の血中GOT値は4852U/L（平均値）と，正常対照群の65U/Lに比べ著増した。これに対し，田七人參粉末0.25%含有粉末飼料投与群では4589U/L，田七人參粉末0.50%含有粉末飼料投与群では1948U/L，田七人參粉末1.00%含有粉末飼料投与群では3246U/Lとなり，田七人參粉末0.50%含有粉末飼料投与群で，有意に血中GOT値の上昇抑制が認められた。血中GPT値についても同様の傾向が得られた。

2) 肝切除手術7日目の肝臓の重量は，擬手術対照群で9.15g，肝切除対照群で7.36g，田七人參粉末0.50%含有粉末飼料投与群で7.64gであり，肝切除対照群に比べ田七人參粉末0.50%含有粉末飼料投与群は，わずかに増加したが有意ではなかった。田七人參粉末0.50%含有粉末飼料投与群では，擬手術対照群に比べ体重の増加率が大きく，肉眼的所見においても良好であった。